

所 報

(2005.5.1~6.30)

□刊行物

- 『日本労働年鑑』第75集（2005年版，旬報社）
- 『大原社会問題研究所雑誌』559号（2005年6月）
- 『大原社会問題研究所雑誌』560号（2005年7月）

□図書受入（5月）

	和書	洋書	計
購入	48	24	72
受贈	34	11	45
合計	82	35	117

□図書受入（6月）

	和書	洋書	計
購入	109	14	123
受贈	81	5	86
合計	190	19	209

□閲覧サービス（5月）

閲覧

開館日数	23日
閲覧人員	27名
貸出図書	54冊

コピーサービス

学外	23件	6206枚
学内	15件	372枚

□閲覧サービス（6月）

閲覧

開館日数	26日
閲覧人員	52名
貸出図書	41冊

コピーサービス

学外	14件	1172枚
学内	33件	1681枚

日 誌

□5月

- 6日 協調会研究会
テーマ：「『協調会史料都市・農村生活調査資料集成II』の刊行準備」
- 10日 協調会研究会
テーマ：「『協調会史料都市・農村生活調査資料集成II』の刊行準備」
- 11日 資料保存問題打ち合わせ会議
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会
- 12日 戦後社会運動史研究会ヒアリング
「高野実と雑誌『国民』」
証言者：山部芳秀氏（元国民文化会議事務局長・元『国民』編集委員）
- 14日 戦後社会運動史研究会ヒアリング
「総同盟時代の高野実」
証言者：大場秀雄氏（元合化労連書記）
- 16日 共同研究プロジェクト ジャーナリスト・ユニオン研究会
テーマ：「ドイツにおけるジャーナリストの組織化—現状と特徴」
報告者：宮前忠夫氏（労働問題総合研究所会員）
- 18日 運営委員会
議題①2004年度決算について
②その他
戦後労働運動研究会
①解説，組み見本，リーフレット，CD-ROM，DVDについて（木内洋育）
②担当年の収録資料について（川崎忠文）
- 20日 大村泉氏（東北大学大学院経済学研究科教授）来所。同氏より“Die Japanische Literatur ueber Marx, Engels und Marxismus von 1919 bis Ende 1927 (Takeo Naito)” 関連書簡類1冊（いずれも複製）受贈
- 21日 電産神奈川八・二六会よりレッド・バージ争議資料段ボール1箱受贈
戦後社会運動史研究会
テーマ：「小熊英二『<民主>と<憂国>』を読んで」
報告者：犬丸義一氏（元長崎総合科学大学教授）
- 25日 研究員会議
月例研究会
テーマ：「韓国金属産業における産業別組合の現状」
報告者：相田利雄
戦後労働運動研究会

- テーマ：相当年の収録資料について
報告者：芹澤壽良，鈴木玲，五十嵐仁
- 28日 加齢過程における福祉研究会
テーマ：「介護保険の見直しと地域における課題」
報告者：池尻成二氏（労働者住民医療機関連絡会議幹事 練馬区議会議員）
- 31日 事務会議
- 6月
- 1日 ドイツ年企画打ち合わせ（於：市ヶ谷，相田利雄，若杉隆志出席）
- 4日 共同研究プロジェクト「ITと雇用」研究会
テーマ：「IT化にともなうコールセンター事業の変容と、求められる感情労働のスキル」
報告者：平林眞苗氏（外資系消費財メーカー・コールセンター部トレーニング&QAマネージャー）
- 8日 戦後労働運動研究会
テーマ：担当年の収録資料について
報告者：吉田健二，五十嵐仁
- 9日 経済資料協議会（於：東京経済大学 土屋広康出席）（～10日）
共同研究プロジェクト「労務供給の多様化とその法的規制」研究会（「労務供給の多様化」研究会）
テーマ：「労働市場法制の最近の動向と労務サービス契約の検討」
講師：鎌田耕一氏（東洋大学法学部教授）
- 15日 運営委員会
議題①2004年度事業報告について
②その他
雑誌『法政』取材
コピー機納品
- 18日 加齢過程における福祉研究会
テーマ：「介護保険制度改正－地域での展開と課題などをめぐって」
講師：川名佐貴子氏（『シルバー新報』編集長）
- 21日 事務会議
- 22日 戦後労働運動研究会
①第3巻（1950-54年）及び1950年の解説文について（早川征一郎） ②各担当年の収録資料について（鈴木玲，芹澤壽良）
- 29日 研究員会議
月例研究会
テーマ：「無償労働の貨幣評価－経過と現状」
報告者：橋本美由紀
『日本労働年鑑』第75集刊行記念祝賀会

大原社会問題研究所利用のご案内

【利用できる方】

とくに制限はありません。社会・労働問題に関心のある方ならどなたでもご利用できます。

【開館時間】

〈平日〉9時30分～16時30分 〈土曜〉9時30分～12時

【休館日】

日曜，祝日，年末年始，大学の入学試験日，他に大学の事情により休館することもあります。その都度掲示，ホームページでお知らせします。

【複写】

1枚30円（法政大学教職員・学生は1枚10円）

*ていねいコピーは1枚50円

コンピュータからの所蔵データのプリント：10枚ごとに10円 *貴重書・劣化の激しい図書・製本新聞は複写できません。

【館外貸出し】

法政大学教職員・学生のみ可

専任教員：10冊 3か月以内

その他教職員・大学院生：5冊 3か月以内

学生：3冊 1週間以内

*戦前資料・原資料・事典類・新着雑誌・整理中の図書資料は貸出しいたしません。

*大学院生・学生は最初に利用登録していただきます。

【所蔵資料の出版物への利用】

1点につき3千円です。研究所長宛に内容を明記した「許可願い」を出してください。

*同一内容の場合は2点目以降は千円。

*使用したフィルムは研究所に寄贈してください。

*掲載図書には，当研究所所蔵である旨を明記し，1点を寄贈してください。

【展示会等への所蔵資料の特別貸出し】

目的・資料名を明記した「借用願い」を出してください。

【非来館サービス】

〈文献複写〉上記料金+送料実費で行います。文書・Fax・メール等でお申し込みください。

〈図書の郵送貸出し〉図書館・研究機関を対象に行います。冊数：3冊以内 期間：1か月以内

大原社会問題研究所雑誌 No.562・563

(2005年9・10月号)

2005年10月25日発行

定価 2,000円(本体1,905円)，年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所
所長 相田利雄
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
電話 042 (783) 2307

投 稿 募 集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投 稿 規 定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論 文 執 筆 要 領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

1 一般的な原則

- ① 横書きとする。
- ② タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。
- ③ 原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。
- ④ 注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。
- ⑤ 図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。

2 注記の方式

■日本語の図書・論文の場合

- A. 日本語で書かれた図書については、①著者名、②書名（書名は『 』で囲む）、③出版社名、④発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。
- B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「——他」の方式も可とする。
- C. 論文については、①執筆者名、②論文名（「 」で囲む）、③掲載雑誌名（『 』で囲む）、④巻号、⑤発行年月日の順に書く。
- D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

■欧文の図書・論文の場合

- A. 欧文の図書については、①著者名、②書名、③発行地（あるいは出版社名）、④出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
- B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。
- C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
- D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

以上